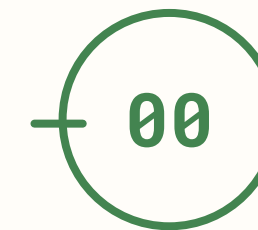




労働者協同組合やぎのお茶会



労働者協同組合やぎのお茶会

労働者協同組合法県民向け研修会

設立までの経過とこれからについて



2026年8月28日

ABOUT US

団体概要

労働者協同組合やぎのお茶会

01

（団体名）労働者協同組合やぎのお茶会

（設立）2026年6月29日

（代表者）安藤 直子

（事業区域）埼玉県及び東京都（場合によりその他地域）

（事業所所在地）埼玉県所沢市

（メンバー構成）10人＋外部監事

（組合員資格）設立・存立に賛同し、事業に従事する個人



MISSION / VISION

設立目的

労働者協同組合やぎのお茶会

01

どんな協同組合か

出資・組合員自らの事業従事・組合員の意見反映を基本原理とする労働者協同組合

02

何を目指すか

自然と人、人と人との平和で豊かな関係を取り結ぶこと（＝武蔵野台地に根ざし、いろいろな人が集まり、出会い、語らい、憩い、交わり、日頃の重荷を降ろせる安心の場をつくる）

03

その先に何をするか

人と自然と地域社会の再生を図る活動

02



約2年半かけて、議論と活動を重ねて設立へ

働くということの「させられる」感、働き方のあり方を転換しないといけないという関心が共通しているメンバーで、時間をかけて議論。集まりを始めて1年経った頃に大きなイベントを開催し、話し合いをしながら実行していくイメージを持てた。定款づくりにも時間をかける。

2024/1/8

あり方検討

学習会・対話の時間・関心の出し合い

2025/2/1

任意団体活動期間

講演イベント開催・農園活動・集まりの企画

法人化準備・設立

2026/6/29

定款や事業計画づくり



講演イベント

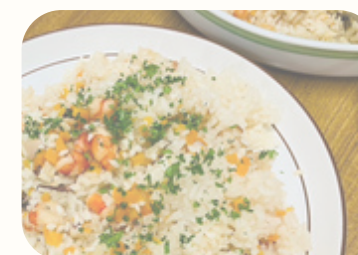
2025年2月1日、日本のアニメ文化の歴史に関する1DAY Cafe&講演会を所沢市の和朋庵にて開催しました。仲間のパティシエ手作りの焼き菓子や狭山丘陵の茶園の和紅茶を楽しむカフェタイムに続き、講演会を実施。日本アニメ文化に関心のあるベラルーシ・ウクライナ・ロシアの若者ともオンラインでつなぎ、国境を越えてアート・自然・平和について考える場となりました。





スペイン社会的連帯経済ツアー報告会

工藤律子さんが主催するスペイン社会的連帯経済スタディ・ツアーに仲間のひとりが参加し、同国における人々が「共に働く」取り組みの分厚さとしなやかさに感動。「ぜひこれを地元の仲間たちにも伝えたい」ということで、生活クラブ生協所沢北支部との共同開催という形で2025年11月22日に報告会を実施しました。当日は、ツアーに参加した若者たちが自分たちの発見を次々に語り、会場は熱気に包まれました。





2025年度の体験事業（農的活動）

2025年度は所沢市堀之内地区の2箇所で農園を借り、農的活動に取り組みました。メンバー全員が農的活動に関心を持っていたことから始まった取り組みで、高温少雨という厳しい気候の中でも20種類弱の野菜を植え付け・収穫。自分たちで育てた野菜を分け合い食べる喜びを実感するとともに、現役学生や周辺の農家・事業者ともつながりが生まれ、農的活動が持つネットワーク形成力を強く実感する1年となりました。



2025年度の学びの事業

2024年11月4日、地域の歴史に精通する対馬良一さんをガイドに迎え、狭山丘陵エクスカージョンを実施しました。早稲田大学の湿地や堂入りの池、お伊勢山遺跡などを巡りながら、丁寧な資料と明快な解説により、湿地保全の難しさや、土地に刻まれた人々の暮らしの記憶に触れる、深い学びの機会となりました。参加者からは「人と自然とが心を通い合わせられるような活動を始めたい」という声も生まれ、その後の私たちの活動へとつながっています。



2025年度の交流事業（対話の場）

既存の職業観にとらわれず、「そもそも働くとは何か」という原点に立ち返って自身の仕事や生き方を見つめ直す対話の場づくりに取り組みました。2025年度は試験的に、身近な参加者5～6名による無料の対話会を3回開催。回を重ねる中で、単なる情報交換を超えた個々人の人生観や内面に触れる対話が生まれ、安心できる関係性の確保がこうした場に不可欠であると再確認しました。



体験事業（農的活動）

- 1箇所に集約・拡張し、栽培品目数と作付け計画を精緻化
- 花卉の試験栽培に着手。情報共有システム・水/倉庫/休憩場所の環境整備を検討
- 活動コストの可視化と収益化の検討を本格化



学びの事業

- 『雑木林博物館構想』発表40周年の節目に「連続講座・狭山丘陵学」を開講
- 早稲田大学や周辺自治体・団体との連携を模索
- 単発講演会・読書会等もパイロット的に実施



交流事業（対話の場）

- 「発信」「カフェの定期開催」「取材」の3軸で事業化
- noteでの記事発信、カフェの定期開催・有料化に向けた試作・視察、「対話型取材」と「公開取材会」の年度内試験開催

自然と人、人と人との 平和で豊かな関係のために

Between nature and people, and between one another —
for each to stay true to who they are.

労働者協同組合やぎのお茶会

CONTACT



お問い合わせや
活動についてはこちらから
yaginoochakai@gmail.com